

群馬県議会だより

第96号

題字は、群馬県立桐生高等学校3年生 書道部 おおひら ちかね 太平 愛音さんの書道作品です。

発行●群馬県議会 編集●県議会図書委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-897-2891 (政策広報課)

第1回定例会開催

8,197億円の令和5年度当初予算案を可決



わたらせ渓谷鐵道神戸駅(みどり市)

神戸駅は花桃の名所として知られ、列車に寄り添うように咲き誇る約300本もの花桃を楽しむことができます。

写真：FIND GUNMAフォトコンテスト(平成29年度)特別賞受賞作品 @kaeeru13さん (Instagram)

第1回定例会のあらまし

◇**令和5年第1回定例会は、2月15日から3月10日までの24日間にわたって開催されました。**

【議案】

2月15日には、知事から「ポストコロナ新時代創生予算～逆境をチャンスに変え、新たな群馬を実現する!」と銘打った**総額8,197億円の令和5年度一般会計当初予算案**をはじめ、群馬県中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例、「群馬パーセントフォーアート」推進条例など**81議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、意見書案**1件**、決議案**1件**、条例改正案**1件**の計**3議案**が発議されました。

【質疑及び一般質問】

15人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。

【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や付議事件、所管する事項などについて審査・調査しました。また、各特別委員会で付議事件に係る提言をまとめました。

【議決】

議決は、3月10日に行われました。

知事から提出された**81議案**は、全て**可決・承認**されました。

委員会から発議された**3議案**は、いずれも**可決**されました。

また、**1件の請願**が採択されました。

請願・陳情の
手引きは
こちら



◇**可決された主な議案**

○**令和5年度群馬県一般会計予算**

○**群馬県中小企業者等の事業の再生を支援するための措置に関する条例**

中小企業者等の事業の再生を支援するため、県信用保証協会に対して県が有する回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例を制定しようとするもの

○**「群馬パーセントフォーアート」推進条例**

アートの力を生かして県民の幸福度の向上を実現するため、県の責務等を規定する条例を制定しようとするもの

◇**可決された意見書**

○**地域の实情に応じた信号機設置等を求める意見書**

◇**可決された決議**

○**農林水産業における資材等高騰への支援を求める決議**

質疑及び一般質問

令和5年2月21日の各党(会)派代表による代表質問、22日、27日、28日の質疑及び一般質問では、以下の議員が質問しました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

2月22日(水)

質問者

2月21日(火)

自由民主党 大和 勲
自由民主党 伊藤 清
リベラル群馬 後藤 克己
令明 井田 泰彦

2月22日(水)

自由民主党 狩野 浩志
令明 金子 渡
公明党 水野 俊雄

2月27日(月)

自由民主党 萩原 涉
日本共産党 伊藤 祐司
自由民主党 森 昌彦
新時代 矢野 英司

2月28日(火)

自由民主党 神田 和生
如水会 入内島道隆
友信会 追川 徳信
自由民主党 中沢 丈一

2月21日(火)

◎保育士・保育所支援センターの設置について

Q 保育士・保育所支援センターの体制及び取組予定について伺います。

A 群馬県社会福祉協議会「福祉人材センター」の取組「保育士・保育園支援プロジェクト」を発展・拡充させ、「保育士・保育所支援センター」を設置しようと考えています。保育専任のコーディネーターを2名増員配置し、きめ細かい就職支援や、潜在保育士の復職支援など、保育士の確保に向けた総合的な取組を展開します。加えて、運転業務者など園を支える保育士以外の人材の確保や、幼稚園の支援も行い、本県の保育充実に取り組んでまいります。



現在の窓口「福祉人材センター」

◎高校生世代までの医療費無料化について

Q 子ども医療費の無料化について、県全体での高校生世代までの拡大を表明されたが、このような決断に至った知事の思いを伺います。

A 「県民の幸福度を上げる」ことこそが、知事に就いたときの原点であり、究極の目標です。高校生世代まで対象を広げれば、医療費の支援に関しては全国で最も手厚い県となります。財源負担は増えますが、子育て支援や移住の促進に与える効果は非常に大きいと考え、決断しました。なるべく早期に、県内一律で、条件なしで高校生世代までの無料化を実施できるよう調整を進めてまいります。

◎Web3.0の活用推進について

Q Web3.0を形成する仕組みのひとつであるDAO(※)を関係人口の創出に活用できると考えますがいかがでしょうか。

A DAOは、グローバルな規模で多くの人々が個々の興味に応じた活動に参加できることから、多様な働き方や自己実現の支援にもつながり、社会課題解決や新たな価値創造への活用が期待されています。DAOの仕組みは、関係人口の創出に加えて、官民の多様な主体による課題解決にも応用できると考えます。令和5年度は、国内外の実態調査や適切な在り方の研究を進め、最適な活用方法を模索してまいります。

※DAO(ダオ)…「Decentralized Autonomous Organization」の略称。「分散型自律組織」という意味で、特定の所有者や管理者が存在せず、参加者による自律的な運営を目指す組織形態のこと。

◎関根発電所の浸水事故に係る知事への報告について

Q 企業局内での報告・連絡・相談は迅速になされていたようですが、知事に対する事故報告が迅速に行われていないのではないのでしょうか。組織上、ガバナンスに問題があったのではないのでしょうか。

A 事故の説明は受けていましたが、騒音については承知していませんでした。地元住民が騒音で苦情をおっしゃった事実について、知事として、把握できていなかったことを率直に反省しています。組織内部の連絡体制を見直すとともに、再発防止にも努めてまいります。

◎群馬県の農政予算の確保について

Q 群馬県の農業振興を図るためには、意欲ある農業者が取り組む機械や施設等の設備投資及び飼料の高騰対策等に対し、県として積極的に支援するための十分な予算を確保する必要がありますかと思うかがいかがでしょうか。

A 令和5年度当初予算案及び2月補正予算案では、これまでの資材高騰に対する緊急的な影響緩和策に加え、経営改善に取り組む担い手に対する機械・施設等の導入支援、畜産農家に対する自給飼料の増産に必要な機械の導入支援等の予算を本議会にお諮りしています。今後も、群馬県農業の持続的発展と食料の安定供給に向けた施策を実施してまいります。



自給飼料の増産に必要な機械

◎小児医療センターの課題及び他県の状況について

Q 建替再整備の方針を決定した理由の一つとして、子ども専門病院特有の課題が顕在化しているとのことですが、具体的には何か。また、他県の子ども専門病院はどのような状況か伺います。

A 成人後も受診している方が生活習慣病等を発症した場合や、妊婦が重篤な症状に陥った場合に、対応できる診療体制が整っていないことが課題です。他県の子ども専門病院では、総合病院との連携等により対応しているため、再整備に当たっては、これらもよく調査した上で、参考としてまいります。



再整備が決まった小児医療センター

活動紹介

特別委員会

◎約1年をかけて検討・議論を重ねてきた4つの特別委員会から3月7日、知事あてに提言を提出しました。

■新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

「新型コロナウイルス感染症対策に関する提言」として、「社会経済活動再開に向けたガイドライン」等に関すること、経済対策に関すること、相談・検査・医療体制に関すること、教育環境に関することなど、新型コロナウイルス感染症対策への備えに関する16項目及び感染症法上での位置付けの移行に当たって留意すべき2項目について提言しました。

■子育て・障害者支援に関する特別委員会

「子育て・障害者支援に関する提言」として、ヤングケアラー、子育て支援、少子化対策、教育イノベーション、障害者の雇用・就労支援、農福連携及び障害者の芸術文化活動に関して、子育て・障害者支援の推進に当たって積極的に取り組むべき37項目について提言しました。

■環境・エネルギー対策特別委員会

「環境・エネルギー対策に関する提言」として、再生可能エネルギー導入等について、グリーンイノベーションの推進について、再生可能エネルギー設備等の廃棄について、環境教育の充実について、EV(電気自動車)の普及促進について、食品ロス「ゼロ」に向けた取組についてなど、環境・エネルギー施策の推進に当たって配慮すべき16項目について提言しました。

■地域活性化・魅力発信に関する特別委員会

「地域活性化・魅力発信に関する提言」として、移住促進に関すること、公共交通に関すること、リトリート推進に関すること、ぐんまの魅力ある観光地づくりに関すること、デジタル化推進に関すること、登山道・山岳観光に関することなど、アフターコロナを見据えた地域活性化・魅力発信の推進に当たって配慮すべき26項目について提言しました。

◎県立学校のエアコン設置について

Q かねてより県立学校の特別教室へのエアコン設置を求めてきましたが、県の取組について伺います。また、体育館へのエアコン設置も検討すべきと考えますがいかがでしょうか。

A エアコンの設置状況は、特別支援学校では普通教室、特別教室とも設置率100%であり、高校では普通教室100%に対して特別教室は40%です。高校の特別教室のうち優先度が高い319室に令和5年度、6年度の2年間で設置を予定しています。体育館への設置には機器の選定、運用方法などの様々な課題があるため、来年度、これらの課題の検討を進め、令和6年度以後の設置につなげたいと考えています。

2月27日(月)

◎MaaS(※)を活用した県央山手線化構想について

Q 今後のMaaSの展開に当たり、新町駅と伊勢崎駅を新たなバス路線で結び、県央地域の循環型公共交通環境(山手線化)を整え、地域の活性化を図っていくことが必要と考えますがいかがでしょうか。

A 県央山手線化構想は、県央地域の主要都市を公共交通で環状につなぐとともに、大学間をネットワーク化するという興味深いもので、今後の政策にどう活かせるか研究してみたいと思います。前橋市のMaaSなどの先進的な取組を高度化しながら、県内に広く展開していくことで、県内の公共交通を新しく、持続可能なものに転換してまいります。

※MaaS(マース)…「Mobility as a Service」の略。地域住民や来訪者の移動ニーズに対応して、複数の公共交通や、それ以外の移動サービスを最適に組み合わせて、スマートフォンなどで検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

◎「学校給食費無料化自治体」の急速な広がりについて

Q 学校給食費の無料化が、群馬だけでなく全国で急速な広がりをみせています。県民に幸福感をもたらす施策の広がりをどう見ているか伺います。

A 無料化の実現は、議員の長年の悲願であることは十分承知しています。学校給食費の無料化は、小中学校の設置者である市町村が地域の实情に応じて判断すべきものであると考えており、無料化が広がっているのは市町村で熟慮を重ねた判断の結果であると受け止めています。県としては、食育推進等の支援で県民の幸福度向上に取り組んでまいります。

◎周産期医療体制について

Q 東毛地域の周産期医療体制の現状と充実に向けた今後の取組について伺います。

A 桐生及び太田・館林保健医療圏の中で分娩可能な医療機関は、診療所6カ所と、周産期母子医療センター2カ所となっています。県では、周産期医療体制を維持するため、分娩取扱医療機関の施設整備費や周産期母子医療センターの運営費等の補助を行っています。また、産婦人科を志望する研修医に対する修学研修資金の貸与額を増額するなど、産婦人科医確保に向けて様々な取組を実施しています。今後も周産期医療体制の充実に努めてまいります。

◎太陽光パネルの適正処理について

Q 2030年代以降、太陽光パネルの大量廃棄が懸念されますが、県の考えを伺います。

A 法改正により2022年7月から発電事業者による使用済みパネルの廃棄等費用の積立が義務化されたことで、発電事業者による適切な廃棄処理等が担保され、使用済みパネルの放置や不法投棄に対する懸念は軽減されると考えています。一方、大量廃棄に備え、県内においても、使用済みパネルを材料ごとに分別して破碎する施設が設置されています。今後は、使用済みパネルを適正な処理ルートに乗せるよう、発電事業者に対して周知・広報を実施するなどの取組を進めてまいります。



太陽光パネル

2月28日(火)

◎群馬県の農業の未来像について

Q 群馬県の農業の未来像について、知事の考えを伺います。

A 群馬県農業の持つポテンシャルは非常に高く、県産農畜産物の付加価値向上や販路・消費拡大の取組、観光と組み合わせた振興で、さらに高めていくことができると考えます。農業は、資材価格高騰など厳しい状況にはありますが、ピンチを新たなスタートへのチャンスとして捉え、群馬県農業の構造転換を進め、新たな価値を創出してまいります。また、「稼げる成長産業」に育てることで、未来に向けて豊かに発展し続ける農業・農村を創り上げてまいります。

◎新医師臨床研修制度の課題と医師確保の取組について

Q 新医師臨床研修制度が開始されて以降、吾妻地域は産婦人科医不足の状態が続いているが、この制度に対する県の認識及び医師確保に向けた取組について伺います。

A 制度開始後、研修環境が整備された一方で、地域における医師不足等の課題も生じたため、制度の見直しを国に要望してきました。医師確保の取組としては、群馬大学地域医療枠の設置等に加え、知事と若手医師等との意見交換を踏まえた取組など、きめ細かな対策を講じています。今後も、医師確保及び地域・診療科偏在の解消に取り組んでまいります。



知事と若手医師等との意見交換

◎円滑な事業承継への支援について

Q 中小企業経営者の高齢化が進む中、円滑な世代交代を進めることは、地域経済の維持・活性化のため極めて重要です。事業承継に係る県の取組について伺います。

A 県では関係機関と連携して、事業承継の支援に取り組んでいます。近年は第三者承継や事業承継を契機とした新たな取組が目立っています。令和5年度は、後継者不在事業者と多様な後継候補者とのマッチングを促進するとともに、受け継いだ経営資源を成長・発展させていける若手後継者の人材育成を進めてまいります。

◎食料安全保障の強化に対する知事の考えについて

Q 気候変動の影響やウクライナ情勢等を受けて、群馬県の食料安全保障の強化に対する知事の考えを伺います。

A 群馬県では、農業への新たな担い手の参入を促し、併せて生産性を高めるために農地の集積・集約やスマート農業(※)の普及を進めます。また、令和5年度を新たな群馬県農業の転機と位置付け、有機農業を切り口に「農業のグリーン化」を進め、持続可能な農業構造への転換を図ります。食料安全保障の強化に向けた県内農業の体質強化・食料自給率向上を目指してまいります。

※スマート農業…ロボットやAI(人工知能)等の先端技術を活用する農業のこと

若者の政治への関心を高める取組

議員に密着ゼミナール ～もっと知りたい政治のハナシ～



昨年12月22日に、県議会議員が大学に出向いて学生と意見交換を行う「議員に密着ゼミナール～もっと知りたい政治のハナシ～」を開催しました。

高崎経済大学地域政策学部の「現代政治論」の授業に3人の県議会議員が参加し、「群馬県の地域課題」について、担当の増田正教授の進行により203人の学生と熱心に意見を交わしました。

会場では、学生から「コロナ対策給付金の支給対象や額はもっと細分化できなかったのか」という問いに対し、議員は「技術的には可能と認識しているが、マイナンバーカードが普及していないなどの課題がある中、スピードと低コストを優先した結果だと思う」などと答えました。



会場の様子

県議会だより題字揮毫 感謝状贈呈式が行われました

県議会広報紙「群馬県議会だより」では、平成23年の第50号から、若者に政治への関心を持ってもらうきっかけとするため、表紙の題字を高校生に揮毫していただいています。

3月2日に、令和4年度に発行した第92号から第95号の題字を揮毫した生徒及び高等学校書道部に、星名建市県会議長から感謝状を贈呈しました。

贈呈後の星名議長との懇談では、部活動や若者の政治参加についてなどの話題で盛り上がり、その後、議場等を見学していただきました。



贈呈の様子

議場見学

***** ご協力ありがとうございました! *****

- 第92号 前橋育英高等学校 3年 福島 萌香さん
- 第93号 樹徳高等学校 2年 白田 鈴葉さん
- 第94号 桐生市立商業高等学校 2年 佐藤 鈴奈さん
- 第95号 群馬県立前橋女子高等学校 2年 吉住 和奏さん

※題字揮毫時の学年



左から福島さん、佐藤さん、吉住さん ※白田さんは都合により欠席

トピックス Topics

一般の方もご利用いただけます!

◎議会図書室のご案内



- ◆場所 議事堂1階南側(前橋市大手町1-1-1)
- ◆利用時間 平日の午前8時30分から午後5時15分まで
- ◆図書・資料の貸出し 期間: 2週間/冊数: 3冊以内
- ◆蔵書の種類

群馬県議会会議録等の議会関係資料、白書、政府刊行物、県行政関係資料、地方自治に関する図書、郷土関係の図書など約28,000冊

◆注意事項

群馬県議会図書室は地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究のため、設置されています。

議員の利用を妨げない範囲での利用になります。学習での利用はご遠慮ください。

群馬県議会ホームページには、新着図書案内も掲載しています。ぜひご覧ください。



令和5年第2回定例会のご案内

日程は5月17日から6月13日までの予定です

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。



©群馬県 ぐんまちゃん

◎本会議・委員会開催日程

期日	曜日	議事予定	期日	曜日	議事予定
5月17日	水	本会議 (開会)	6月5日	月	常任委員会
19日	金	本会議 (委員選任・提案説明)	6日	火	
26日	金	本会議 (質疑及び一般質問)	8日	木	特別委員会
29日	月		13日	火	本会議 (委員長報告・議決・閉会)
31日	水				

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。(開会はおおむね午前10時からです)

◎県議会中継

テレビ

★群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉 スマートフォンやタブレットはこちらからご覧いただけます

◆本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

インターネット

★県議会ホームページ「議会中継」〈生中継〉〈録画〉

◆本会議の全日程をご覧ください。



編集後記

図書広報委員長 萩原 渉

図書広報委員会は、県民の皆さまに県議会の役割や活動を知っていただくため、「群馬県議会だより」を年4回発行しています。今年度はウィズコロナにおける様々な議会活動を、本紙のほかホームページやSNS(フェイスブック・ツイッター)などでお伝えしてきました。

今後も、より一層「開かれた県議会」を目指し、積極的に広報に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



図書広報委員会 構成委員

県議会では、弔電を自粛する申し合わせを行っています。

◎「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和5年7月2日(日)発行予定です。

◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。

☎ 027-897-2891 FAX 027-221-8201

✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp



去る1月15日に中島篤議員がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

議員異動のお知らせ

八木田 恭之議員 リベラル群馬 → 辞職(令和4年12月28日付)

◎県議会だより電子書籍版はスマートフォン等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。



◎過去の県議会だよりは こちらからご覧ください。



県議会ホームページ 群馬県議会 検索

県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。



Facebook

